



第 449 号  
2026.3.1

発行・豊中歴史同好会  
責任者 小川 滋



# 飯豊皇女と顕宗・仁賢天皇

奈良女子大学古代学・聖地学センター協力研究員 阪口 由佳

はじめに

近鉄南大阪線に「忍海」駅があります。

その近くに宮があつたと伝えられているのが、顕宗天皇の即位前に登場する飯豊皇女です。古事記とも比較しながら、日本書紀の複雑な所伝について検討したいと思えます。本日も越しの皆様は古代史に関心があることと存じますが、私の専門は文学で、「どのように書かれているか」が中心となります。事実がどうであつたかには十分踏み込めない点、皆様には物足りなく感じられることと思いますが、ご了承いただければと思います。

ればと思います。

ご存知の通り日本書紀は全三十巻から成り、一巻に一代の天皇が収められていることが多いのですが、複数の天皇代が収められる巻もあります。巻十五には清寧から顕宗・仁賢の三代が収められています。

二二代目の清寧天皇には子がなく、父・雄略天皇が皇位継承権のある人物をことごとく葬っているため、皇位継承の候補者が存在しないこととなります。

清寧から、系譜的には遠い（親同士が従兄弟）顕宗への皇位継承にあたり、媒介・

飯豊皇女と顕宗・仁賢天皇 阪口 由佳  
岡山バス旅行復路での塚口先生車内講義  
緊急幹事募集ならびに今後の当同好会運営  
小川 滋

中継ぎを担ったのが飯豊であつたと考えられます。以後、本稿においては飯豊の位置づけ（女王・皇女など）にかかわらず「飯豊」と呼び、けんそう 顕宗（をけ 弘計）・仁賢（おけ 億計）についても即位前後にかかわらず「顕宗・仁賢」と呼ぶことがあります。

## 1, 日本書紀の飯豊と顕宗・仁賢

日本書紀における飯豊の記事を傍線部に注意しながら順に読んでみましょう。小字注は便宜上【】とします。

A 日本書紀 卷十一 履中天皇元年条

秋七月の己酉の朔壬子に、葦田宿禰が女黒媛を立てて皇妃としたまふ。妃、磐坂市辺押羽皇子・御馬皇子・青海皇女を生む。

【一に曰く、飯豊皇女といふ。】

履中紀（A）において、青海（飯豊）皇